

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ツ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2018年(平成30年) 1月1日 第127号

2018年を迎えて



院長 周防 正史

あけましておめでとうございます。皆さんにとって平成29年はどのような年でしたでしょうか。昨年は長く頑張っていたいただいた藤田先生が、専門医を取るために大学に移動されました。養内先生が就任され回復期リハビリ病棟の充実ができるようになりました。深見先生に来ていただき、在宅診療での褥瘡処置などを充実することができるようになり、本年1月から在宅療養支援部を開設しました。「在宅療養支援部」とは在宅療養支援病院として存続するための大きなプロジェクトです。質の高い在宅医療に対応できるよう、地域の状況、患者の状態、医療内容、住まい方等に応じた、効果的・効率的で質の高い訪問診療、訪問看護の提供ができるようにしていきます。三ツ浪先生に推進役をお願いし、今までの地域連携、退院調整の機能を継承しつつ在宅療養支援病院の機能を強化します。

電子カルテのリプレイスに当たり新しい電子カルテMI・RA・Isに変更しました。電子カルテ同士の移行なので、と考えておりましたが、甘かったようです。同じ電子カルテでありながら設計思想が異なる電子カルテは、慣れるだけで大変です。多くの職員に無理をお願いしました。変更が、運用の無駄のリフレッシュに、またあたらしく取り入れた機能がより有効に活用できるよう頑張っていきたいと考えています。

医療安全管理者の木下さんが就任しました。医療安全の分野は、医療者にとって感染対策と同等の大きなテーマです。1昨年始まった事故調査委員会制度を含め手伝っていただけの部署ができたことは、大いに期待するところです。

細井先生が平成29年末に退職されました。ホスピス開設11年を支えていただき、東近江圏域において、緩和ケアの重要性を示され、活躍していただきました。ヴォーリス記念病院の名刺を出せば、緩和ケアと言われるまでに育てていただき、本当に感謝です。平成30年度診療報酬改定の骨子では、緩和ケアを含む質の高いがん医療の評価が求められております。1月から奥野先生に託す新しい緩和ケア病棟です。奥野先生としての特色ある緩和ケアを期待します。

病院機能評価受審の年を迎えました。自院の理念達成や地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを効率的に提供するために、改善活動を推進しています。病院の自助努力とともに、第三者による評価で意識を高めていかなければなりません。1回目の受審がまるで昨日のようです。病院一丸とならなければならない事業です。3回目もすべての職員とともに頑張ります。

専門医制度が、いよいよ開始になります。中小の病院としては、専門医教育の一部を担う病院として協力ができるようです。長らく若い医師の雇用ができませんでした。短期間でも来ていただくと病院も活気づくのではと期待しています。何よりも、医師教育の現場にいないことには、医療の質が衰退します。医療の進歩に、しっかりとした歩調を合わせて進む一年にしたいと思います。

☆インフルエンザを予防するために☆

1. 予防注射をしましょう。
2. うがい・手洗いはこまめに。
3. 外出するときは、マスクを着用しましょう。

院内感染対策委員会

今
月
の
聖
句

「万軍の主よ、立ち帰って下さい」

旧約聖書 詩編 80篇15節



チャプレン 安部 勉

2018年を迎えました。今年当院はこの北ノ庄の地で「近江療養院」として開設して100年を迎えます。当院は100年前の5月25日、結核療養所として歩みを始めました。創立者ヴォーリズはじめこの地でキリスト教の理念に基づいた医療、看護を行うため志高い多くの方々がこの地での働きに従事され100年という歴史を刻む時を迎えました。

100年の歴史を振り返れば多くの諸先輩方の苦勞や困難があったことも伺えます。戦中、そして戦後にかけて、また結核療養所から一般病院への転換など決断を下すには大きな「試練」が課せられたことでしょう。

聖書の言葉、この言葉の背景にユダヤの国が隣国からの攻撃で人々が離散してしまった後、神さまへの訴えとして書かれたものと言われています。神さまによって奴隷の地から解放され与えられた土地で平和な日々を望んでいたにも関わらず、ま

た敵から攻められ人々が離散せざるをえない現実を嘆き、またその意図を神に問いただす歌でした。

「神さま、なぜですか！」 そう思いたくなる現実が誰にもあります。多くは「だから神さまなんかいない」「神に信頼しても意味がない」と思うかもしれません。しかし、ユダヤの民は「神さまが私たちと契約してくださったのだ」との信仰に立ち、試練の前で神さまに訴え、嘆くのです。

「万軍の主よ、立ち帰って下さい」

切実なる人々の思い。捕われの身にあって、なお、神さまへの信頼、神さまとの関わりの中に救いと慰めを求めています。

神さまとのつながりの中にあること、その信仰は私たちにも引き継がれています。神さまの守りのうちに私たちは100年の歩みが許されてきたことを喜びたいと思います。



ヘルシークッキング 1月



つみれの豆乳鍋 おいしい「験担ぎ」食

エネルギー 256kcal 蛋白質 28.6g 脂質 8.3g (1人分)

豆乳 100cc
水 50cc
昆布 5cm程度の長さ
塩・こしょう 少々

白菜 80g
生椎茸 1枚
えのきだけ 50g(1/4株)
人参 15g
ねぎ 20g
大根 適量

【つみれ団子】
鰯 1匹
塩 少々
酒 4cc
すりごま 2g
片栗粉 3g



(作り方)

1. 昆布は分量の水に30分以上浸水し、太めのせん切りにする。
2. 鰯は下処理として頭と内臓と取り出し水洗いをして水気を拭き取り、手開きでさばいて中骨を取り除く。これを包丁でたたか、フードプロセッサーですり身にし、塩、酒、すりごまを合わせ、片栗粉を混ぜて12~16個の団子にする(市販の鰯団子でもOK)。
3. 白菜は葉の部分は大きめに切り、芯の部分は包丁を斜めにしてそぎ切りにする。
4. 椎茸は石づきを切り落とし好みの大きさに切る。
5. 人参は薄切り、ねぎは4~5cmの長さに切る。
6. 昆布を浸しておいた水と豆乳を合わせ、せん切りにした昆布と塩を加え火にかける。煮立ったら白菜の芯の部分を加え4~5分煮て鰯の団子を加える。火が通ったら白菜の葉、きのこを加え最後にねぎを加えて煮る。
7. このままでも十分美味しく食べられますが、一味唐辛子を加えた大根おろしで食べても美味しい。

鰯は油の構成成分である脂肪酸に特長があります。脳を活性化するDHAが豊富に含まれ、脳の神経細胞の情報伝達をスムーズに行い、記憶、学習力を高めるのに役立ちます。

また神経伝達物質の合成に必要なビタミンB6も多く含まれます。欠乏するとイライラや、記憶力低下などの症状が出てきます。受験生には、落ち着いた気分で勉強するためにも頼りになる食品です。また、豆乳は大豆を原料としているので良質蛋白が摂れ、神経伝達物質の供給源になります。昆布、

きのこ類に含まれる整腸作用の食物繊維で便秘を予防し、すっきりした気分で受験勉強に励むことができます。白菜やねぎによりビタミンCが摂れ、ビタミンCには抗酸化作用があり風邪に負けない体を作ってくれます。

さあ、受験生のみなさん、脳が働くにはいろいろな栄養素が必要です。験を担ぐにしても1つの物だけを食べるのではなくバランス良く食べて、頑張ってください！

つら

ヴォーリス記念病院 創立100周年に向けて

当院は今から99年前の5月、「近江療養院」という結核療養所として開設しました。来年で100周年を迎えます。近江八幡の地で100年という月日、地域の皆さんにキリスト教の理念に基づき医療や介護、福祉の働きを担って来ました。来年の100周年に向けてこのコーナーでは病院に関連するトピックをご紹介します。

第10回

公益財団法人近江兄弟社 嘱託研究員 芹野与幸

近江ミッションの広報物は英文の“The Omi-Mustard Seed”という活動レポート冊子と文書伝道の一環から始まった「湖畔の声」があった。

“The Omi-Mustard Seed”は1907年4月号から1938年ごろまでは定期的に発行され、ほとんどが米国や英国のミッション支援者向けに発行され、

在米の支援者が窓口になって多くの購読者から献金を集めていた。

1938年にいったん休止して戦争をはさんで米国の近江兄弟社財団の援助と協力で復刊され、不定期ではあったがヴォーリスが亡くなるまで発行が続けられた。

左の図は、1958年秋号としてオハイオ州にあった米国財団が発行したものである。この号には、秩父宮妃殿下が近江ミッションを訪問され、病院に案内された時の様子の写真が掲載されている。

妃殿下の左側がヴォーリス夫人の満喜子であると記されている。近江ミッションの医療事業であった近江サナトリウムは、日本でも数少ない結核療養所の一つで、皇族からは先の第二次世界大戦の最中にもこの働きのために、度々御下賜金が贈られていた。そのようなことから皇族の関係者は度々近江八幡に立ち寄られていたようである。ヴォーリスの妻である満喜子も病院においては看護師（昔は看護婦と呼ばれていた）の精神的な教育のために多くの時間を割いていた。満喜子夫人の実兄が大正天皇の学友であったことから、貞明皇后は大正時代から一柳家を個人的に知っており、その関係で昭和天皇、三笠宮殿下、秩父宮殿下は母親である皇后から近江ミッションの存在を知らされていたのである。



健康について

3病棟 原田恵美

私の健康観は、快食・快便・快眠がモットーで有り、日々健康づくりを心がけています。

冬場は、日照時間が短いことや身体の冷えによって、睡眠の質が落ちるため、寝付きにくく朝スッキリと目覚められない日が増えてくるので、“寝る1時間前入浴”、“寝る30分前の首もと温め”を習慣にしています。

“寝る1時間前入浴”は、38～40度のぬるめのお湯に20分程度ゆっくりとつかり、身体を芯から温めリラックスします。

“寝る30分前の首もと温め”は、市販されている、首元に直接はるタイプの温熱シートや首元用湯たんぽなどで温めています。

首もとを温めると、全身の血めぐりが良くなり、手足まですばやく温まり、その結果、放熱が促され、身体の深部温度が下がるため、入眠しやすくなります。心地よい入眠と翌朝のすっきり感は表裏一体。

毎日のちょっとした工夫で、睡眠の質は改善できると思います。

風邪などの病気が流行りやすい冬こそ、質の良い睡眠をとって疲れをためない、免疫力の高い身体づくりをして乗り切りたいと思います。



報告1

管理職研修を終えて～SWOT分析→クロス分析→BSC～

事務長 澤谷久枝

平成29年度の管理職研修は、4月と11月の2回にわけて実施しました。

4月には、SWOT分析&クロス分析です。当院の強み・弱み・機会(組織にとって「追い風」になるもの)・脅威(外部環境で「向かい風」になるもの)を出し合い、強みを活用して外部の追い風を取り込むにはどうしたらよいか。弱点を克服し、機会をものにしていく方向性や経営課題を明確にしていくことを中心にグループディスカッションをしました。

11月には、部署目標の進捗状況のヒヤリングレポートを基に、コンサル指導者から、BSC(バランス・スコアカード)の必要性と方法論を学びました。考え方は、戦略目標を「財務の視点」「顧客の視点」「業務プロセスの視点」「学習と成長の視点」と

いう4つの視点ごとに捉えることにあります。年度ごとに事業計画を立案しますが、目標達成や変革をするためには、人財や組織づくりの土台を醸成するための学習・改善、顧客(患者)の視点で何を提供できるのか、そのための業務の仕組みのシナリオが必須です。結果として財務において収益向上や業務効率率が上がり、次の投資が可能になり安定した事業継続ができることとなります。

今年度の計画をこのカードに落とし込み評価をした上で、平成30年度の事業計画に臨みたいと考えています。この研修で病院本体・各部署統一の指標が可視化でき、各スタッフにもわかりやすいツールとして活用できることを期待します。

報告2

第45回 里モニター会開催

モニター委員会 奥田典子

平成29年11月21日(火)13名のモニター様にご参加してくださいました。

里モニター会は、年に2回、6月と11月に開催しており、11月はモニター様に病院食を召し上げて頂きました。

里モニター会の議題はアンケート集計の報告、意見交換でした。

10月から11月にかけて、病院、老健、在宅(訪問看護、ヘルパーステーション、居宅介護支援、

看多機友愛の家)において、満足度アンケートを実施いたしました。感謝の言葉、お褒めの言葉をたくさん頂きました。また、厳しいお言葉も頂きました。貴重なご意見です。有り難うございました。

3月に里モニター会の慰労会を開催する予定にしております。皆様にお出あいできる事を楽しみにしております。



報告 3

病院クリスマス会

チャプレン 安部 勉

さる12月9日、病院外来を会場に「病院クリスマス」を開催いたしました。1部礼拝では、今年入職した職員を中心に聖歌隊が讃美歌を合唱しました。2部では、河本学さんのバイオリン、吉田桂子さんのピアノの演奏を皆さんで楽しみました。また「お楽しみコーナー」では三ツ浪理事長も加わりヴァイオリンの演奏、そしてボランティアの皆さんで「ヴォーリズホスピタルソング」の

合唱がありました。これはボランティアの皆さんが作詞作曲された曲です。

そして今年も「おうみ作業所」の皆さんをお招きし、皆さまから募った募金をお渡ししました。

「おうみ作業所」は今年で創設30周年を迎えられたとのこと。クリスマスのひと時を患者さんはじめ多くの方とお祝いするひと時でした。



報告 4

第256回、第257回 ミュージックタイム

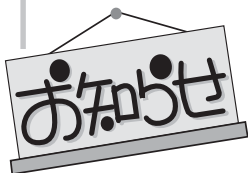
さる2017年11月11日、「第256回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。11月はホスピスボランティアの飯田和子さんとそのお友だちによる楽しい演奏会でした。患者さんたちも心暖まる思い出に残るひと時でした。

また12月2日に「第257回 ミュージックタイム」を開催しました。篠原眞紀子さんピアノと歌のひと時。皆さん懐かしい曲を耳によい時間を過ごされました。



<11月ミュージックタイム>

<12月ミュージックタイム>

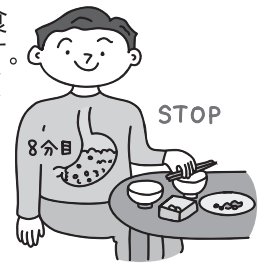


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日 時 4月26日(木) 12:00~13:30 場 所 新館研修室(病院内)
講 師 管理栄養士

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内 (平成29年度)

開催日程表

回	日 程	内 容	担当・講師
5	2月22日(木) 14:00~16:00	「ひとり暮らしでも 最期まで我が家で」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 5回目2月20日(火)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 田井中
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を
送って頂けるようサポートします!!

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院・開業医の皆様からの受診・入院依頼
…等

お気軽にご相談ください!

TEL (0748) 32-5211 (代)
FAX (0748) 36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にご覧いただけます。

お知らせ



平成29年度ヴォーリス記念病院「がんセミナー」のご案内 ～テーマ「がんと一緒に生きる」～

- 第1回 2018年1月20日(土)
「がんの治療とともに行われるリハビリテーション・
サポーターケア」
滋賀県立総合病院(旧称 滋賀県立成人病センター)
リハビリテーション科 科長 川上 寿一 先生
- 第2回 2018年2月17日(土)
「生活を支える社会資源に関して」～MSW～のはたらき
ヴォーリス記念病院
地域医療課 課長 加藤 和幸
- 第3回 2018年3月17日(土)
「引き継いだいのち」 患者様ご家族 田辺 恵 様

時 間： いずれも午後2時～午後4時
場 所： ケアハウス信愛館(近江八幡市北之庄町492-2)
(当院ホームページのマップをご参照ください。)

定 員： 30名
お申し込み 氏名、住所、電話、参加希望人数を明記のうえ、
メールまたはFAXでお申し込みください。定員に
達した時点で締め切りとさせていただきます。

(申し込み後、メールまたはFAXの返信をもって参加証といたします。
ご持参ください。)

【お問い合わせは】 公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院
(がんセミナー担当：安部)
FAX：0748-32-2152
E-mail:vories-reihaidoh@vories.or.jp



2018年 集団栄養指導 糖尿病教室



- *時間：午後12時～午後1時半
- *場所：研修室(療養棟下)
- *内容：治療食の試食と各スタッフによる勉強会
2018年は偶数月のみの開催と致します。

2月	お休み
4月26日(木)	管理栄養士
6月28日(木)	看護師
8月2日(木)	薬剤師
10月25日(木)	理学療法士
12月6日(木)	医師



*日程は都合により変更になる場合があります。ご了承下さい。

スタッフ一同ご参加をお待ちしています。
詳細については、外来看護師にお尋ね下さい。